

年金申請時に役立つ情報 <日常生活の状況など> (1)

氏名 横須賀 太郎

◇ 出生から現在までの障害の状況、程度、症状や日常生活能力など（発達の記録・学校での様子・学習面・対人関係・環境の変化など）について、エピソードなどを交えて、できるだけ詳しく記入してください。

◇ なお、年金の支給は、本人の苦手なこと、できなかったことに着目して判断されると思いますので、サポートブックの本編に記入するような本人のプラス面に着目した表現とは切り離して、次のような視点で記入すると良いと思います。

（例） ○○が苦手である、○○することは出来ない、○○の時は不自由である など

◇ 年金申請時（20歳の時など）に、本人や保護者が作成する「病歴・就労状況申立書」の記入に役立つ情報となりますので、ライフステージが変わる場面ごとに記入しておくことをお勧めします。

ライフステージ	期間	日常生活の状況など	記入日
出生から 就学前 (0～6歳頃)	0～3歳	<ul style="list-style-type: none"> *人見知りをしなかった。 *視線が合わなかった。 *人に触れられることが嫌いで、抱っこも嫌がるが多かった。 *表情が乏しく、あまり笑わなかった。 *うまく言葉を話せず、オウム返しが多かった。 	平成〇年 〇月〇日
	4～6歳	<ul style="list-style-type: none"> *一人遊びを好み、お友だちではなく、大人と遊ぶことの方が多かった。 *物を並べることや順番、儀式的な行為にこだわる（切り替えができないため、日常生活にも支障が出ていた。） *かんしゃくを起こすことが多く、園の行事には参加できなかった。 *音・光に過剰に反応する。 *身体の使い方が下手で、運動が苦手だった。 	
小学生の頃 (7～12歳頃)	低学年	<ul style="list-style-type: none"> *よく靴の左右を間違えて履いていた。 *自分の気持ちが伝えられず、お友だちとケンカ・トラブルになり、よく学校の先生から呼び出されていた。 *自分の思い通りにならないと、イライラしてものにあたる。 *先生から、何度も同じ注意を受ける。 *大人がついていないと、椅子に座ってられない。 	平成〇年 〇月〇日
	小3後期	<ul style="list-style-type: none"> *理由は分からないが、学校に行きたがらなかった。 	
	高学年	<ul style="list-style-type: none"> *勉強はできるが、取り組むまでに時間がかかり、取り組めても短時間しか集中が続かない。 *間違いやダメなことが認められず、いつまでも謝れない。 *班やグループでの活動が苦手で、一人で行動することが多い。 *落ち着いたさから、定期通院・服薬をしていた時期がある。 	

年金申請時に役立つ情報 <日常生活の状況など> (2)

氏名 横須賀 太郎

ライフステージ	期間	日常生活の状況など	記入日
中学生の頃 (13~15 歳頃)		*非言語のコミュニケーションは全く通じない。 *苦手な人・場面になると黙り込む。 *衣服や髪型など身だしなみを気にせず、整えられない、季節感がない。 *急な予定変更があると、落ち着かずにトラブルになる。	平成〇年 〇月〇日
	中2の夏頃	*学校から通院や服薬を勧められたが、本人の拒否があり、できなかった。	
		*やり取りが幼く、同年代の子と一緒にいることがない。 *会話が一方通行で、やり取りにならない。 *一度「こうだ」と思い込むと、なかなか修正が効かない。 *失敗体験が多く、何に対しても意欲がわからない・やる気が出ない。 *勉強はできるが、得意・不得意の差が激しい。	
高校生の頃 (16~18 歳頃)		*時間の概念がなく、自分でスケジュールを立てて行動することは出来ない。 *学校などの慣れている場所であれば一人で行けるが、それ以外は一人での外出はできない。 *聞きながらメモをとるように、2つのことを同時にすることは出来ない。 *ひらがな・カタカナは読めるが、漢字は読めない。 *思ったことをすぐに口に出してしまう。 *あいまいな説明や指示ではうまく理解できず、的外れな行動をとる。 *描く絵が非常に幼い。 *自分の考えと異なるものは受け入れられず、すぐにトラブルになる。 *自分の能力を理解できていないため、自分のできること以上のことをやろうとする。 *場の空気が読めず、喋りだすと止められるまで、しゃべり続ける。	平成〇年 〇月〇日
高校卒業から現在 (19 歳以降)		*金銭感覚がないため、手元にお金があると計画性なく使ってしまうため、管理が必要。 *仕事は具体的な指示があり、単純で慣れている作業であれば取り組める。 *話をしているも視線を合わせられない。 *生活パターンが崩れると、普段できていることが出来なくなる。 *高校卒業後、新しい環境になかなか馴染めずにいる。	平成〇年 〇月〇日